

R6年度 事業名	人間ドック検査料補助事業(国民健康保険会計)
R5年度 事業名	人間ドック検査料補助事業(国民健康保険会計)

総合戦略 体系	342	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進
------------	-----	--------------------------------	------------------	-------------------

P L A N 計 画	部署名	国保年金課		開始年度	1996	終了年度	9999
	目的	人間ドックの受診により病気の早期発見、早期治療につなげ、被保険者の健康維持とともに医療費の抑制を図る。					
	概要	人間ドックを受診した30歳から74歳までの国民健康保険被保険者に対して、検査費用の一部を補助する。また、検査の結果要観察以上の人には医療機関への受診を促す。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	当市で確保した病院で人間ドック受診枠での受診に対して、費用の一部を補助する。応募者多数の際は抽選。		
	現在	その他					

	活動指標									
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025	
	人間ドック受診対象者への通知回数		回	目標値	1	1	1	1	1	
				実績値	1	1	1	1		
	成果指標									
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025	
	当該事業定員に対する受診者の割合		%	目標値	100	100	100	100	100	
				実績値	57.8	63.5	61.8	68.4		
	計算根拠	(人間ドック受診者数+脳MRI受診者数)／人間ドック受診者定員 H24までは人間ドック受診者に占める60歳未満の男性の割合を指標としていたが、H25に対象年齢を拡大したことから定員に対する受診者の割合に変更、H28			達成率	57.8	63.5	61.8	68.4	
					実数値	231/400	254/400	247/400	253/370	
				ランク	C	C	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	受診控えと、希望する医療機関が集中することによる。 市内総合病院や市外の病院での受診を希望する方は6割を超えて、最も割合の高い医療機関は、97%であるのに対し、市内の個人病院で受診される方が定員の半分以上となっているため。									

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	13,480	13,480	13,475	12,538	11,419
決算額	9,033	7,501	7,654	7,632	8,008

会計	国民健康保険事業特別
事業タイ	交付金事業
経費区分	補助費等

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	6	1	1	2	ヘルスパイオニア事業費	13,359	11,430
2							
3							
4							
5以降							
合計							11,430

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1	県2号交付金	112
2		
3		
4		
5以降		
合計		112

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	140

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
11	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒

維持

取組内容

年齢枠(30歳～74歳)を維持して実施する。なお、定員に達しない場合は、市内の病院に限り新たに申請を受け付ける予定。追加募集については、年度途中の国保加入者への案内や国保証一斉更新に同封するチラシに案内を入れ周知する。

来年度へ向けて

R5年度の実績

247人に補助を行った。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

過去には、健康づくり課と連携して特定健診受診券を送付の際、人間ドック助成の案内も同封していたが、送付重量の問題により令和2年度から見送っている。利用者からも「知らないうちに申請時期を過ぎていた。」という御意見もあり、事業周知不足が課題となっていた。
令和5年度は、受診券送付の封筒裏面に、「人間ドックのお問合せ」の文言を印刷した。(6年度も同様に実施)
また、特定健診受診券に健康づくり課が同封する「健診案内」に、人間ドック健診についてより深く理解してもらえるよう工夫した。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

引き続き健康づくり課と協議し、封筒やチラシ内に人間ドック実施に関する詳しい情報を記載していく。7年度は、5月に送付する「健診案内」の他に作成する「人間ドックに関するチラシ」を同封できるよう、内容を検討し、準備を進める。
令和5年度の受診者247名のうち、電子申請による申込は74件であったため、電子申請での受付を広く周知していく。

R7方向性⇒

維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒